

# 幼児文化芸術

## 感動体験

夏がやってきました。夏といえば「水あそび」。子どもたちの大好きなプールの季節です。

水しぶきを上げたり、水をかけ合ったり、もぐったり、幼稚園中に歓声が響きわたります。

日本には、季節の変化を楽しむ四季のくらしがあります。春にはお花畑で暖かさを感じ、夏には暑さをしのぐ水あそびで清涼感を味わい、秋には収穫を喜び、美しい月を愛でる、冬には寒い時期、温かい鍋を囲んで団らんする。

全ては自然の中で直接ふれあい、心動かす、「感動体験」です。

六十年以上前に地球環境を憂い、後に環境教育の礎となったアメリカの生物学者レイチェル・カーソンは、著書「センス・オブ・ワンダー」の中で、「知ることは、感じることの半分も重要ではない」というメッセージを残しています。感性（感じる心）こそ人間性の本質です。

本財団では、感性がもっとも育つ幼児期に、本物の文化芸術に触れる体験プログラムを、各会員園で実施しております。ダンス、楽器、世界の文化芸術を観る、聴くだけでなく、実際に踊る、奏でる、表現することで、心の深くまでしみ込む「感動体験」が味わえます。

コロナ禍が明けました。今年は、四年ぶりの「幼児文化芸術祭」（会場開催）を三月に行う予定です。当日は会員園の親子が一同に会し親子舞踏会で踊り、希望の歌（交響曲第九番編曲）を合唱いたします。感動体験の数々がお子様の心を育て、ご家族の喜びを生み、幸福感に包まれることを願っております。

（財）幼児文化芸術協会 会長 岡田勝彦

（栄光八事幼稚園、鳴海ヶ丘幼稚園 園長）

2023年7月吉日

第30号

発行：



一般財団法人  
幼児文化芸術協会



## 名古屋西幼稚園 民族楽器で遊んだよ！

五月十八日は「文化芸術体験教室」がありました。今回はアフリカの民族楽器の「ジャンベ」です。最初、講師のムロさんが

軽快なリズムでジャンベを叩く音に子どもたちは興味津々「ジャンベはどこにあるの？」「問いに子どもたちは「アメリカ」「オーストラリア」「スペイン」など言っていました。正解はアフリカでした。「ジャンベ」に使われている皮は何の動物？」の問いには、「ライオン」「シロクマ」「カバ」「ゾウ」など動物園にいる動物の名前を挙げていましたが、正しくはヤギでした。

次は、グループ毎に大小のジャンベを叩きました。「おもちゃのチャチャチャ」やアフリカの曲「バラクランジャ」「ママリエ」を小さな音や大きな音、速いテンポやゆっくりのテンポで叩き、子どもたちは本当に楽しそうでした。

最後は、アフリカの結婚式の曲「ジョレ」を聴きながら、みんなは跳んだり跳ねたり大はしゃぎ！！全身で楽しさを表現していました。そして、子どもたちは、ジャンベの音とリズムでますます元気になったようです。

## 会員園トピック

### とみよし幼稚園 ヨガ体験

ヨガ体験を年少組から順に、学年毎に経験しました。ホールに入り、裸足になるように促されますと「何するの？」「運動？」と小さな声で聞こえてきます。「ヨガは、動物や植物などと友だちになるんだよ」という先生の言葉から体験が始まりました。

まずはつま先を立てたまま正座をし、そこからゆっくりと立ち上がります。普段とは違った立ち上がり方ですので、バランスの取り方に少々苦労しているようでしたが、二度三度と行う頃には立ち上がる子が増えてきました。

次は、足の指を使って新聞をたぐり寄せる動きです。ヨガは頭から足の指先まで、全身に意識を張り巡らして動くことを大切にしています。

その後は身体全体を使って、「イヌ」「ネコ」「カエル」などのいろいろな動物の姿勢をとりました。単に形を真似るのではなく全身に注意を払わなければなりません。子ども達は先生のお手本を見ながら笑顔でポーズをとっていました。

ヨガという子どもには少し難しいかなと思えますが、楽しく身体を動かすとても良い経験となりました。



## 第10回 夏季保育者研修会

実践を通して幼児教育の「バリエーション」を目指します！

8/7に開催予定！

<研修内容>

- 「先生の元気が園の元気！」講座  
講師：時實 順子 先生  
山見 恵里 先生
- 「功が効て歌いましょう」歌唱  
講師：豊田 かおり 先生
- 「若々しい身体づくり運動」体験  
講師：寺本 佑介 先生

## 第10回 幼児文化芸術祭

DVDに収録、3月に配信しました♪

- ☆収録内容☆
- 希望の歌～交響曲第九番～（年長児・保護者出演）
- 親子舞踏会（年中児・保護者出演）
- 文化芸術体験プログラム

## 栄光八事幼稚園 情熱のダンスを踊ろう！

いつものホールが、今日は、ちよと違う雰囲気。舞台があり、素敵なお洋服の先生とギターの先生もいらして、とても豪華です。今日の文化芸術体験は「フラメンコ」。さて、フラメンコはこの国の踊りでしょうか？の質問に…。ヒントは最初の文字が「ス」と聞いて、「スイス？」「スウェーデン？」「スペイン！」正解です。スペインは日本から遠いのかな？世界地図で、飛行機に乗って、びゅーん…、遠いですね。次は、フラメンコの踊りを見せてもらいました。子どもたちは、手や足のつま先まで細かいステップに見とれてしまいました。

そして、いよいよ次は体験の時間です。「足、手、手、手…。難しい」。先生の挑戦しました。真剣な眼差しの中にもフラメンコの情熱的な曲調に楽しくのって、踊りと歌を体験し、スペインの芸術を肌で感じたひと時になりました。

